

あの手 この手

9月号
2020

あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。
第158号 2020年9月10日 大和市民活動センター[拠点やまと] 発行



ペテルギウス玄関
9月1日の生け花



表紙絵: 「やまと国際フレンドクラブ」主催の
やまと国際アートフェスタ 入賞作品を掲載しています。
今回のテーマは “2030年の世界とわたし”
永屋賞 受賞
題名 「うちゅうとみらい」
藤田 蓮さん
深見小学校 4年

藤田 蓮さん からの < メッセージ >

未来では、宇宙に行けているかもしれないし、
ロボットも進化していると思う未来を
えがきました。

オンライン(ZOOM) 共育セミナー 報告

8/25 (火) 第90回

箸育 (はしいく) 講座 ～ いつから始める? 箸トレーニング ～

新型コロナウイルス感染症の影響により集合形式のセミナーが出来なくなった今、お試しに人数を絞っての会議室とリモートでの参加で開催しました。



講師: NPO 法人 みんなのお箸プロジェクト
礼法講師・箸文化講師
平沼 芳彩 さん

「日本人の一生は箸に始まり、箸に終わる」という言葉で始まったセミナーに Zoom で参加しました。生後 100 日目の「お食い初め」は、一生食べることに困らないように願いを込めて箸を揃え、家族で祝い膳を囲む「箸の始まり」。亡くなった人のお骨を拾うのが「箸の終わり」。箸の種類説明では、漆塗りの箸の塗りが剥げてきたら、買った店で塗りなおしてもらえるとのこと。知らなかったです。でも、残念ながら塗りなおしてもらおうほどの高級品は使っていないことに気が付いた現実。子どもにお箸を持たせるタイミングは、両手を広げて片足で立てるようになったらとの説明に、成長に個人差があるのなるほどと思いました。お箸の長さは「1 あた半」がベストの長さとのこと。「あた」という単位は親指と人差し指を直角にした対角線の長さで説明を受け、今使っているお箸がジャストの長さより長いことが分かりました。高齢者が筋肉の衰えによってお箸が持てなくなったら、1cm 短い箸にするとよいとのこと。



小指と薬指が離れないようにしっかり握って、親指と人差し指、親指と中指を交互にパクパクさせる訓練を、子どもと一緒に遊びながらやることを勧められた。これは高齢者の介護予防訓練としても有効だと思います。

online セミナーを開催して(スタッフ)

主に準備のカメラやマイクの設置・設定などを担当しましたが、これが思う様に出来ない。頭の中ではいくつかのパターンを想定していましたがトラブル続き、講師の PC をプロジェクターに繋いでみたら何故か映らず、代わりの PC を使用。カメラにマイクを付けて PC に繋げて映す、これは上手く出来ました。講師につけるのがヘッドホンマイクだったので、どちらか片方をミュートにしないとハウリングがおきてしまう状態に、どちらをメインに使うかをスタッフの間で話し合う時間もなく ZOOM 開始。とりあえず片方をミュートにして対応。かなりバタバタした様子が ZOOM で流れ音声駄々洩れ。初めての ZOOM は反省点がいっぱい。次回はこの反省点を活かしてもう少し上手く出来ればと思います。(吉浜)

会場参加者は大人 3 名、子ども 1 名の 4 名(うち親子参加 1 組)。会場では直接講師の話を聞くことが出来るメリットがある反面オンライン画面の共有が出来ない為、時に分かりにくい場面もあったように思います。また、講師の方はパソコン画面と共に会場にも視線を向けて話すなど、より負担が掛かるかと思いました。参加者全てに分かりやすくスムーズに進行する為にいっそうの工夫が必要だと思います。(辺見)

これがスムーズにできるようになると、正しい箸の持ち方ができ、細かいものもつまめるようになるという説明に納得でした。迷い箸、刺し箸、差し箸、探り箸、渡し箸などマナー違反などの説明もしていただき、箸文化の奥深さを知ることができたセミナーでした。会議室にての参加者には、セミナー終了後に個人的にアドバイスをします、と講師の平沼さん。参加したお子さんは正しくお箸を使って、食事を楽しめることでしょう。子育て世代のお母さん、お父さんに是非、お薦めしたいセミナーです。保育園や幼稚園でのセミナー開催が増えるといいと思いました。コロナ感染の拡大が収束したらですけど... (サポーター: 石川美恵子)

参加者の感想をお聞きしました

- ・自分たちは教えられていなかった。娘に間違った教え方をしていたかもしれない。(パパ)
- ・お箸の講座、ありがとうございました。孫に向き合って教えていけます。親の方は下の子どももいて、なかなか教える時間も取れないようで、私たちジジババにまかされてしまいがちです。(おばあちゃん)
- ・私はその時、偶然ビデオ OFF でしたので、箸の持ち方を注意されず!これから“一人こっそり”直していきます。昔、「箸がクロスしているけど?」と注意され...それも“外人”から... (おじいちゃん)

ちょいといっぱい!

新型コロナウイルスで外出もままならず、この機会に“断捨離”や“整理活動”をしている家庭も多いと思います。タイの友達から写真ビッシリの CD4 枚(2010 年 2 月 2 日付)が送られてきたのを切っ掛けに、我が家も始めました。主導権は妻にあり「要らないでしょう?」と言われると確かに将来も使わない気がします。額縁の裏から、何と 44 年前の印刷機のアウトプットが出てきました。カーボン紙を挟んだまま高速チェンプリンターで出したものです。確か会社同期友達の結婚式で披露したものです。額縁の裏に挟んであっても 1 枚目は既に変色していました。絵を描いてから小さなマス目に“何の文字”を当て嵌めるのが苦勞しました。そして式場で会社先輩から「おまえ、こんなの描いて遊んでいたのか!」もハッキリ覚えています。望月

望月

令和 2 年 7 月 1 日 (水) より
大和市民活動センターは再開しています



「3密を避ける」ガイドラインに沿ったご利用をお願いしています。(お問い合わせください)

令和 2 年 9 月 1 日より
市民交流スペースの一部を再開しました

人数制限、利用方法に条件があります。

- ・利用可能人数: 6 人(机 1 台に椅子 1 脚)
- ・検温、手指の消毒、マスクの着用をお願いします。
- ・利用受付用紙に記入し、帰りに提出してください。
- ・人との距離をとってください。(2メートル、最低1メートル)
- ・机や椅子は、移動できません。
- ・食事(おやつを含む)はできません。

小中学生の絵の募集から展覧会へ

コロナ禍 安全なイベント開催の模索

「やまと国際フレンドクラブ」は市民レベルでの国際交流を目指し、市内在中で外国にルーツを持つ子供たちの支援や、海外の食を楽しむ文化交流のイベントなどを行っています。中でも毎年10月には、絵を通して国際交流を行う、小中学生の絵の展覧会「やまと国際アートフェスタ（アートフェスタ）」を開催しています。大和市民活動センターは、会長の長谷部美由紀さんにインタビューの機会をいただき、今までの団体の活動や、今年で13回目となる「アートフェスタ」への展望について伺いました。

1- 団体について教えてください

私たちは、多文化共生を目指した国際交流のイベントの開催を中心に、大和市中で活動しています。現在のメンバーは日本・中国・ペルー・ブラジル・フィリピン出身の22人です。様々な言語で、皆さん訳したりお話ししたりできるので、イベントに向けた資料やチラシを作る時に頑張っていたんでいます。

団体を立ち上げたのは14年前で、大和市中住まいの外国人の方たちが悩んでいることに、何か役に立てないかな、あとは外国人の方と触れ合いたいな、と思ったことがきっかけです。

「できるときに、できることを」をモットーに、あまり難しく考えずに、自分たちも楽しみながら活動しているところが、継続の秘訣かもしれないですね。

実際に来場者の方にも好きな絵を選んで投票してもらっていて、その投票によって「やまと国際フレンドクラブ賞」や「インターナショナル賞」が、スポンサーによって「スポンサー賞」が決まることになっています。

去年は「10年後の自分」をテーマに作品を募ったんですけど、おじいちゃんと自分が大きなジョッキでビールを飲んでいる絵があったんですね。展覧会の時に、絵の前でおじいちゃんと描いた本人が写真撮っている場面があったりして、家族の姿をみているだけでも楽しかったです。

4- アートフェスタで大切にしていることは

展覧会の後には、描いてくれた絵を5枚の絵葉書にして、参加賞としてプレゼントする、というのを第1回から続け



絵葉書の元データ。絵を描いた本人の名前や、展覧会のテーマなどが絵葉書に印刷され、参加賞としてプレゼントされる。

2- どんなイベントを開いていますか

大きく5つのイベントがありまして、今後ですと、10月に開催される来場者参加型の小中学生の絵の展覧会、「やまと国際アートフェスタ」があります。

他の4つのイベントには、高校生大学生が先生になって外国にルーツを持つ小中学生に勉強を教える「学べ〜る」、泉の森キャンプ場でブラジルのパーベキューを楽しんで、食べておしゃべりする「だべ〜る」、世界各国のお菓子や飲み物を楽しんで、ダンスと歌で国際交流を楽しみましょうという「インターナショナルフェスタ 国際交流+more」、 「大和市民国際化協会」と「日本語ネットワーク」と一緒に開催する「にほんごではなそう、日本語スピーチ大会」というものもあります。

ています。みんなが大好きなシリウスへの作品の展示や、自分の名前が入った絵葉書のプレゼントで、何か自分の絵を特別に思っていて欲しい、絵を出すことで自信を付けて欲しい、というのが最初の願いだったんですね。絵葉書のプレゼントは、子供たちにとっても親御さんにとっても嬉しい、と話に聞きました。

5- 10月予定のアートフェスタについて教えてください

一番恐れているのは、絵の応募がなかったら、ということです。毎年、ほとんどの市内の学校では、夏休みに選べる宿題として、絵の課題を宿題リストに載せてくれています。ですが、今年は夏休みが2週間しかなく、絵を描いてくれるかな、っていうところがありますね。

ですので、例年より1ヶ月前倒しで絵の募集を開始したり、普段は作品を学校に回収しに行くところを、「大和市民活動センター」と「大和市民国際化協会」の2箇所に持ってきて大丈夫、ということをお伝えしたりしています。

そして今回もシリウスのギャラリーを使わせていただくんですけども、感染症対策として横のスペースが取れる、ゆっくりに見られるような作品の配置にできればと思っています。

ですが投票については、今回は会場の混雑を避けるためにも、WEBでの投票を考えています。「会場に来るのはちょ



長谷部美由紀さん
会長として「やまと国際フレンドクラブ」の活動を支えています。

3- アートフェスタには毎年多くの作品が集まるそうですね

アートフェスタでは、市内の小中学校の生徒の絵をいただいてきて、シリウスのギャラリーで展覧会を開くのですが、毎年350~400枚の作品が集まります。



絵の前で記念撮影をした長谷部さんたち。アートフェスタでは壁一面に小中学生の絵が飾られる。

っと…」と思われる方にも投票して欲しいので、新しく検討していこう、ということになりました。

6- コロナ禍での活動についてどのように考えていますか

今まで私たちが大事にしてきたのは「触れ合い」です。心だけじゃなくて、握手をしたりハグをしたりとか。それが全てダメとなると、どういうイベントの形にしよう、というのが悩みの種です。

ですが、ただ「危ないから」とやめてしまうのは簡単かもしれないけど、感染予防をしながら安全にできる方法を探すことに意義があるのかなと思います。

今後の定例会でも、今だからこそ、真剣に考えて、方法を探していきたいですし、そして手探りで次のイベントに臨んでいきたいと思っています。

(サポーター 尾畑翼)



参加者同士の交流。壁に飾られた作品の下に、紙の輪をつなげていくことから、展覧会に来た人たちの交流が生まれていた。



新型コロナ対応 緊急応援助成 第3次募集

【対象となる事業・活動】

新型コロナウイルスの影響が長期化する中、地域で課題解決に取り組む活動・事業を支援します。

例えば、以下の活動を行っている団体を支援します

- ・地域のフードバンクによる生活困窮者への食料支援活動
- ・子ども食堂・地域食堂・居場所運営団体等による支援活動
- ・無料学習支援団体による、オンライン教材作成、オンライン学習など。
- ・子どもを持つ母親を対象とした相談事業
- ・DV被害者への相談・支援活動
- ・障がい者、高齢者などの生活を支援する活動
- ・外国人への相談・情報提供、食支援活動
- ・病気により被っている悩みや生活上のハンディを克服することを目的とする、当事者または支援者の活動。
- ・その他、本プログラムの趣旨に合った事業・活動

期間：9月16日（水）必着

実地主体（応募先、問合せ先）

公益財団法人かながわ生き生き市民基金

（担当事務局 土屋 誠司）

TEL：045-620-9044 FAX：045-620-9045

HP：https://lively-citizens-fund.org/archives/2893



福祉車両および活動助成金の寄贈

【応募要件】

- ・応募にあたっては、福祉車両か活動助成金のどちらかに限ります。
- ・応募資格は運営主体が社団法人、財団法人、社会福祉法人、NPO法人、地方公共団体等で、かつ公共性が高く営利を目的としない団体（法人）とし、社会福祉・社会奉仕に寄与する活動を行っていることとします。・会社法人は応募できません。
- ・応募に際し、応募申請書、登記簿謄本（履歴事項全部証明書）、決算報告書の写し、法人・施設のパンフレット等を提出していただきます。
- ・第三者への転売および権利譲渡はできません。
- ・選考にあたり、書類審査のほか必要に応じてヒアリングや、現地訪問調査等を行うことがあります。
- ・寄贈先は日本国内に限ります。

期間：9月30日（水）（9月30日まで消印有効）

主催：公益財団法人ALOSK ありがとう運動財団

TEL：03-3470-6267

E-mail：arigatou@alsok.co.jp

HP：http://www.alsok-arigato-foundation.alsok.co.jp/kobo.html



第5回支援団体募集

【事業の目的】

貧困の状況にある子供たちが抱える困難は様々であり、また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、子供たちの環境も大きく影響を受けています。貧困の連鎖を解消するためには、一人ひとりに寄り添ったきめ細かな支援を弾力的に行うことが必要です。草の根で支援活動を行うNPO法人等の運営基盤の強化を行い、社会全体で子供の貧困対策を進める環境を整備するため、NPO法人等への支援金を交付します。

期間：10月2日（金）17時まで

問合せ先：独立行政法人福祉医療機構 NPO リソースセンターNPO 支援課

TEL：03-3438-4756 FAX：03-3438-0218 月曜～金曜 9：00～17：00（祝祭日除く）

（なお、つながりにくい場合は03-3438-9942におかけください。）

HP：https://www.wam.go.jp/hp/miraiouen5th/?fbclid=IwAR2rYHzm8-xzmJ5KeyofqsQth3gsEn5oMlJv4-5M9CzfSkUuwGDXS6bUK9o



スタッフのつぶやき



マスクもしない南米女性4人が信号待ちの間、楽しそうに抱き合いながらの挨拶。私は「何でこんなに暑いのだろう？何でこんなに信号が長いのだろう？」と後ろに並んで汗を拭いながら青信号待ち。1人の人がジェスチャーたっぷり大声で「恐らく「この横断歩道、ボタン押すの〜？」 望月

お盆に母が逝った。東海道新幹線はガラガラだが、ジバングは使えず!?実家の近場に住む親せき・親族で無事送ることができた。もう少し先かなと思っていたが、突然だった。母の世代は全てなくなり、自分が最前線に立つときがいよいよ来た。 櫻井

今週は夜8時から、4日続けてオンライン会議があった。これまでリアルな会議がオンラインになった場合は気心も知れているが、コロナ禍で始まった会議は4か月たっても、しっくりいかない。目くばせや腹を探ることもできない。辞易する。これがWithコロナか！ZOOM飲み会でもやりますか？盛り上がりがないだろうな〜 関根

今年のお盆はzoomを利用してオンラインお盆に。家族は集まらず、お経をあげるお坊さまの姿もない。こんな時代が来るなんて、きゅうり（馬）とナス（牛）に乗り帰ってきたお盆さま方はさぞびっくりしたであろう2020年夏。 辺見

8月中旬山梨県に行きました。友人と車でドライブ、ふと前の車を見ると横浜のナンバープレートの下に「静岡県に在住しています」の貼り紙が・・・この車に何があったのか気になります。「動物注意」と書いてある鹿の標識があり、「あまり見ないね〜」と話していたら本当に茂みから鹿が飛び出してきてビックリですよ。 吉浜

小学生時代、夏休みにはラジオ体操に通い、カードに毎日スタンプを押すのが喜びだった。当時は振り返るように、最近では英字新聞を音読した日に、カレンダーにスタンプを押している。ぎゅっと押す快感は、ここ3週間続けてこられた原動力だ。 尾畑

大和市民活動センターは「大和市民新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手 この手」 第158号 発行日：2020年9月10日

発行：大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館日 月～土 9:00～18:00>
<休館日 12月29日～1月3日・毎月第3月曜日>
〒242-0018 大和市民見西1-2-17

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788
e-mail:yamato@ar.wakwak.com
http://www.kyoudounokuyoten.com/